

参考

第 18 回若年者ものづくり競技大会「メカトロニクス」職種 運営要領

競技運営の基本的考え方

- (1) 『世界 No.1』のメカトロニクス技術者を育成する競技会とする。
- (2) オープン・フェアの精神を原則とし、常に競技委員と参加チームがコミュニケーションを密に取り、競技運営を円滑に実施できるよう協力し合う。
- (3) 全国大会を円滑に運営するためのルール・要領は大会終了毎に見直しを図り、大会へ向けた運営の修正・確認をする場として、毎年、6 月上旬に以下の連絡会を開催する。
 - a. 職種連絡会
 - ① 競技委員、大会参加チームの代表が参加する。
 - ② 近い将来大会に参加を予定しているチームの代表が参加可能。
 - ③ 競技内容等の検討、大会当日の役割等についても検討する。

競技運営関係者

- (1) 競技運営の役割分担
 - a. 競技主査……全体運営を取りまとめる責任者。
 - b. 競技委員……主査をサポートし、各課題の具体的要領・企画・立案を担当。また、競技当日は競技説明などを担当。
 - c. 競技補佐員…競技実施にあたり運営に係わる様々な業務で主査をサポート。各課題中のクレーム対応、得点集計、他を担当。
 - d. 協力員（以後、「審査員」とする）……競技当日、各チームの審査を担当。
- (2) 第 18 回大会の競技運営メンバー
 - a.

競技主査	佐藤 崇志	(職業能力開発総合大学校)
競技委員	市川 修	(職業能力開発総合大学校)
競技委員	森口 肇	(職業能力開発総合大学校)
競技委員	林 恒	(フエスト(株))
競技委員	千葉 康司	(フエスト(株))
競技委員	青木 敏彦	((株)ミツバ)
競技委員	遠藤 裕司	(日産自動車(株))
競技委員	青柳 僚真	(トヨタ自動車(株))
 - b. 競技補佐員 主査の権限で任命する。
 - c. 審査員 参加チームの指導者（競技ルールを理解している者で生徒、学生、訓練生ではないこと）を、1 名／チーム選出する。

参加資格及び全国大会への推薦

大会の参加資格は、次のいずれにも該当する者とする。選考基準を満たし、本大会において成績優秀と認められたチームは、全国大会へ推薦される。

- (1) 参加申込申請時および大会開催時に日本国内の職業能力開発施設、工業高等学校等において技能を習得中の者であること。
- (2) 企業等へ就業していない生徒、学生、訓練生等であること。なお、企業等への就業経験者（メカトロニクスに係わる職種に限る）、大会開催時に就業していることが見込まれる者は参加を認めない。
- (3) 大会開催年度（4 月 1 日を除く）に 20 歳以下であること。ただし、技能五輪全国大会への参加を希望する者については、大会開催年度に 20 歳を超える場合であっても、全国大会参加資格を有する場合、全国大会への選考を目的として、大会への参加を認める（大会表彰対象外）。

情報共有（メカトロニクスフォーラム、Slack）

- (1) メカトロニクス職種の情報公開、及び参加者の情報交換を目的として運営されている。
- (2) 大会参加チーム代表者は参加登録すること（選手以外）。
- (3) 登録は、氏名、企業・学校名、所属、メールアドレスを、主査宛に E メールで送信する。
- (4) ホームページのアドレス：<https://mew.skr.jp/forum/>
- (5) Slack ホームページのアドレス：<https://mechatronics-jp.slack.com/>

競技資料

資料名	内容	公開（改訂）時期
競技日程表	競技日程	6月上旬
競技課題と採点基準	競技課題の概要、配点、採点基準	6月上旬
持参工具等一覧	持参する機器・工具類	6月上旬
競技要領	競技の取り決め、競技方法、審査方法	6月上旬
基本設備仕様書	競技用 FA モデルの仕様（使用機器図面を含む） （注）ロボットステーション、新規ステーション、ステーション製作用部品に関する記述は、本競技に適用しない	6月上旬
タッチパネル仕様書	タッチパネル画面の仕様。	6月上旬
作業基準書	組立・配線・配管などの基準書	6月上旬
基本設備動作確認仕様書	基本設備動作確認用プログラムの仕様（サイクルタイムを含む） （注）ロボットステーションに関する記述は若年者競技大会では、課題対象外装置であるため、本競技に適用しない	6月上旬
仕様書定義集	機器の名称、仕様書で扱う語句	6月上旬
競技設備仕様書	競技大会で使用する競技用 FA モデルと持参部品の仕様	大会 1～2 か月前

競技記録について

- (1) 主催者、報道関係者、競技委員会が、競技エリア内で撮影を行う場合がある。ただし、各チームのエリアには立ち入らない。
- (2) 各チームによる撮影は、競技エリア外から行うこと。ただし、一般の観客の妨げにならないよう配慮し、以下の要領で行うこと。
 - a. 撮影対象チームおよび三脚設置場所正面のチームの許可を得たうえで、設置者・撮影対象・設置場所を明記した札（名刺サイズ程度）を付ける。
 - b. 三脚の脚の間隔は概ね 60cm 以下、ビデオカメラの高さは 140cm 以下とする。脚を固定しても良い。
 - c. 自身のチームの撮影に限り、自身の競技エリアから電源を取って良い。ケーブルを適切に処理し、電源を他に流用しない。
 - d. ビデオカメラを手に持って撮影することは制限しない（一脚の使用可）。
- (3) ウイルス等による感染の予防上、上記の条件をさらに制限することがある。必要に応じて別途定めるものとする。

競技ルールについて

- (1) 支障のない範囲で、技能五輪全国大会「メカトロニクス」職種の競技ルールに近付ける。
- (2) 第 16 回大会より MPS D バージョンをベースにした課題構成とする。